

資料

2. 大連ロータリークラブのロータリー宣言（大連宣言、ロータリー宣言）

1. 須（すべか）らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。故に吾人は道義を無視して所謂（いわゆる）事業の成功を獲んとする者に与せず。
2. 成否を日々に先立ち退いて義務を尽くさむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念（ねが）う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。
3. 或いは特殊な関係を以て機会を壟断（ろうだん）し、或いは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す。これ吾人の最も忌む所なり。吾人の精神に反してその信条を紊（みだ）るは利のために義を失うより甚だしきは無し。
4. 義を以て集まり、信を以て結び、切磋し琢磨し、相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。然れども党を以て厚くすることなく、他を以て拒むことなく、私を以て党する者にあらざるなり。
5. 徒爾（いたずら）なる角逐（かくちく）と鬭争とは世に行わるべからず、協力以って博愛平等の理想を実現せざるべからず、然り我が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す。吾がロータリーの崇高なる使命茲（ここ）に在り、その存在の意義又茲（ここ）に在す。

満州大連クラブの古沢丈作氏が「ロータリーの綱領」と「職業倫理訓」の真髓を表現したもの。
ちなみに、彼はその後、東京クラブで1952年に会長を務めた際、米山梅吉氏の遺徳を偲んで米山奨学金制度を創設。